

-



◎規制対象物質(25物質)

▽特定化学物質障害予防規則の適用を受けるもの(13物質)

・塩素化ビフェニル(PCB)	・水銀およびその無機化合物 (硫化水銀を除く)
・アクリルアミド	・塩化ニッケル(Ⅱ) (粒状のものに限る)
・エチレンイミン	・ヒ素化合物 (アルシンとヒ素ガリウムを除く)
・エチレンオキシド	・β-プロピオラクト
・カドミウム化合物	・ペンタクロルフェノール(PCP) およびそのナトリウム塩
・クロム酸塩	・マンガン
・五酸化バナジウム	

※カドミウム、クロム、バナジウム、ニッケル、ヒ素の金属単体、マンガン化合物は対象外

▽鉛中毒予防規則の適用を受けるもの(1物質)

・鉛およびその化合物

▽有機溶剤中毒予防規則の適用を受けるもの(11物質)

・エチレングリコールモノエチルエーテル (セロソルブ)	・テトクロルエチレン (パークロルエチレン)
・エチレングリコールモノエチルエーテル アセテート (セロソルブアセテート)	・トリクロルエチレン
・エチレングリコールモノメチルエーテル (メチルセロソルブ)	・トルエン
・キシレン	・二硫化炭素
・N, N-ジメチルホルムアミド	・メタノール
・スチレン	

産業保健相談事例のご紹介

産業保健推進連絡事務所では、産業保健に関する相談業務を実施しています。

当連絡事務所に寄せられた相談事例を紹介します。

- Q. 建物解体時に建築リサイクル法に係る掲示だけでなく「石綿」に関するものも表示する様な話を聞いたが、建物解体時にはどのような掲示をすればよいのか？

- A. 石綿含有吹き付け材(レベル1)、石綿含有保温材、耐火被覆材、断熱材(レベル2)については計画届、作業届の労働基準監督署への届出が必要だが、その他の石綿含有建材(スレート材等)(レベル3)の使用がある場合には「リサイクル法」での参考届け出が必要。使用がない場合においても「不使用」という掲示を周辺住民の安心のために貼り出す事が指導通達されている。書式については特段定めがないが、調査者、日付、方法等いくつかの要件を記載することとされている。



産業保健セミナー(9・10月の予定)のご案内

当連絡事務所の産業保健セミナー(9・10月分)を掲載します。

受講料・教材費は無料です。

＊セミナーは、できるだけ計画通り実施したいと考えていますが、電力事情や会場等の都合により、研修の中止や日程・会場の変更をすることがあります。

☆お申し込み・詳細につきましてはホームページをご覧ください☆

⇒ <http://www.gummasanpo.jp/seminar/index.html>

(申し込みいただいた後の変更については、連絡先がはっきりしている方には、連絡事務所からご連絡いたします。)

日 程	テーマ	開催場所
☆産業医研修		
9月27日(木)	『 歯科保健から考える生活習慣病 』	前橋
10月11日(木)	『 有機溶剤使用場所の管理のための 測定機器の使用実習 』	前橋
10月24日(水)	『 糖尿病治療の最新知識 』	前橋
☆メンタルヘルス対策セミナー		
9月19日(水)	『 対話法について(対話のコツ) 』	前橋
9月20日(木)	『 メンタルヘルス不調の従業員への 対応と職場復帰支援のポイント 』	大泉
10月 5日(金)	『 メンタルヘルス不全者の休職と職場復帰 』	前橋
10月17日(水)	『 対話法について(事例と実習) 』	前橋
10月26日(金)	『 カウンセリング(初級)「認知行動療法」 』	前橋

☆健康保持増進対策セミナー		
10月 4日(木)	『 インフルエンザ対策 』	前橋
10月30日(火)	『 高齢労働者の健康管理 』	前橋
☆作業環境管理対策セミナー		
9月14日(金)	『 VDT 作業における労働衛生管理 ～注意点の復習～ 』	前橋

8月のセミナー結果

◎メンタルヘルス対策セミナー

テ ー マ : 『メンタルヘルス不調の予防とポイント(その1)』

開催日時 : 8月9日(木) 14:00～16:00

会 場 : 太田市学習文化センター 第2研修室

講 師 : 鈴木 浄美 氏(カウンセリングオフィス「ハルモニア」代表、当連絡事務所 相談員)

参 加 者 : 10名

内 容 : メンタルヘルス不調に陥る人は必ずその前にストレスサインを出しています。

そのサインを早期にキャッチし、メンタルヘルスの不調に陥らないようサポートの仕方、接し方等について分かり易くお話していただきました。

参加者からは、「具体的で分かり易かった」「メンタルヘルス不調者への接し方など大変勉強になりました」「今回のセミナーの内容について安全衛生委員会で報告したい」等の意見を得ました。



テ ー マ : 『パーソナリティの評価と病理』

開催日時 : 8月21日(火) 14:00～16:00

会 場 : 群馬県公社総合ビル 1階東研修室

講 師 : 渡辺 俊之 氏(高崎健康福祉大学大学院 教授、当連絡事務所 相談員)

参 加 者 : 18名

内 容 : 産業メンタルヘルスの領域では新型うつ病という言葉がしばしば聞かれます。

従来のうつ病親和性パーソナリティ(まじめ、情にあつい、断れない)とは異なる性格傾向が背景にあることが知られています。

そもそも、精神疾患の多くは、パーソナリティ特性と環境との相互関係の不具合で引き起こされた不適応状態です。パーソナリティとは、自我の機能として評価ができます。現実検討能力、対象関係、支配と達成の能力、退行の方法、防衛規制などについて学び、産業場面におけるパーソナリティ評価と病理の表れ方について、講師自らが力動的精神科医として臨床で行ってきたパーソナリティの評価をもとに、分か



参加者からは、「分かり易い講義で、パーソナリティについて理解できた」「専門的なことを含む密度の濃いセミナーでした」「第2弾を期待しています」「何か問題があれば、ぜひ相談したくなる講師です。」等の意見を得ました。





涌泉

＜＜群馬産業保健推進連絡事務所メール配信サービス解除、変更はこちらから＞＞

<<このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから>>

《発行元》群馬産業保健推進連絡事務所
電話:027-233-0026 FAX:027-233-9966